

## BMC 海外派遣報告

高分子科学専攻井上研究室 D2 信川省吾

学会名：The Fifth International Workshop for Far East Asian Young Rheologists

派遣期間：2010, January, 20-24

派遣先：Pusan National University, Korea

私はインテグレートイッド大学院理学教育 BMC プログラムの支援を受け、1月21日から23日に韓国の釜山で行われた The Fifth International Workshop for Far East Asian Young Rheologists(IWFEAYR-5)に参加し、研究発表を行いました。このワークショップは東アジア、特に日本、韓国、中国のレオロジー分野の学生と若手研究者のみが発表をする学会で、今回で5回目となります。私は京都で行われた第2回から連続して参加させていただいております。

今回、私は「Effect of Polymer Segmental Size and Chemical Structure on Cooperative Dynamics in Polymer/4-pentyl-4'-cyanobiphenyl Blends」というタイトルで口頭発表しました。この学会は他の学会とは異なり、ディスカッションの中心は学生です。私の発表の際にも数人の学生から質問されましたが、質問者が学生ということもあり、偉い先生からのような厳しい質問は少なかったと思います。とは言うものの、今後の研究の参考になるような的を射た質問も多く、有意義な発表ができました。

この学会の特徴は、発表以外の時間（特に夜）を利用して海外の学生との交流を深めるという時間があります。毎年、その土地の伝統料理を食べたり、有名な観光地などを巡ります。そのようなイベントを通して、私は海外の学生と仲良くなる事ができました。同じ研究分野の海外の友人がいることは、公私ともに非常に大きな財産だと思っており、今回の学会では良い経験をさせていただきました。

最後になりましたが、このような発表の機会を与えてくださった BMC プログラムの皆様に厚く御礼申し上げます。

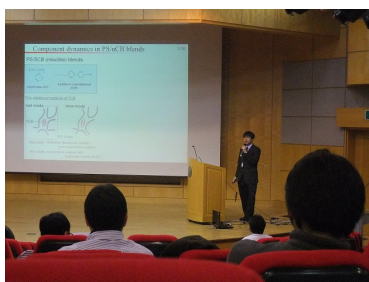


図1 発表風景



図2 韓国の伝統料理



図3 釜山の町